

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	814	施策	ICTの利活用
管理事業	情報システム運用業務	所管部局	行政経営部

1	所管 室課	情報政策室	事業名	情報システム運用事業	
事業概要					
小型システム運用、庁内データ総合共有活用システム整備、情報通信基盤、共通基盤システム、空調機管理					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
【オンライン会議システム導入による拡充】 【テレワークシステム導入のための実証実験による拡充】 【職員向けコミュニケーションツール導入による拡充】 【公立保育所等へのパソコン・タブレット端末の増設による拡充】		決算額（千円）	783,327	763,746	
(1) 内部事務系システム稼働時間 令和元年度…8, 205時間 令和2年度…8, 105時間 令和3年度…8, 239時間		一般財源の比率（％）	93.6	91.9	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
(2) 住民情報系システム稼働時間 令和元年度…8, 759時間 令和2年度…8, 759時間 令和3年度…8, 760時間		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☒ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性
		ICTを活用した業務改善を進める一方、運用保守委託料やシステム改修、機器の費用の増大が持続可能性の面で課題となっている。今後も市民にとって安心・便利なデジタル行政サービスの実現及びICTを活用した業務プロセスの改善に積極的に取り組むとともに、コスト削減や運用負荷の軽減にも併せて取り組んでいく必要がある。			今後の実施計画の方向性・内容
					拡充
					引き続きICTを活用した業務改善に取り組む。

2	所管 室課	情報政策室	事業名	情報化推進事業	
事業概要					
地域情報化、情報化推進体制整備					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
【CIO補佐業務の対象範囲拡大による拡充】		決算額（千円）	30,585	32,183	
(1) CIO補佐業務の実施 本市ICT施策の推進と全体最適化を図っていくため、豊富なノウハウをもつ事業者からの支援を受けるもの。令和3年度は、システム標準化対応に関する支援を拡充した。		一般財源の比率（％）	100.0	80.0	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
(2) 電子申込システムでの手続数 令和2年度…337件 令和3年度…766件 ※市民向け手続だけでなく、内部手続も含む。		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
(3) 施設予約システムの導入済施設数 28施設		課題は、新型コロナウイルス感染拡大を始めとした外部環境の急速な変化に対応しながら、情報セキュリティを十分確保しつつ、多様化する市民ニーズに応えるための自治体DXを推進していくことである。対応状況の具体例として、来庁せずに手続が可能となるよう電子申込システムのキャッシュレス機能の拡充を検討した(令和4年度実施予定)。また、法律により令和7年度末に実施が必達である「システムの標準化・共通化」を着実に実現していくために、CIO補佐業務の拡充を行い実施体制を強化した。			今後の実施計画の方向性・内容
		拡充			システム標準化を始めとした自治体DXの実現に向け取組を更に強化推進していく

	所管 室課	事業名				
事業概要						
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点	
		決算額（千円）			※課題があるものは■	
		一般財源の比率（％）			☐ 市民ニーズ、社会的役割	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性	
					☐ 効率性	
					☐ 公平性	
					☐ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名